

「認定こども園の設置及び運営に関する協定」を締結しました



琴田理事長と町長(右)

「小野町公私連携携幼保連携型認定こども園設置及び運営に関する協定」調印式が6月19日、役場で行われました。

この協定は、町が進めている「公私連携携幼保連携型認定こども園」について、町と設置・運営事業者である、社会福祉法人啓誠福祉会(琴田啓子理事長)との間で締結したもので、町がこれまで築き上げてきた教育・保育の継承や支援を要する園児への対応、未就学児に対する子育て支援の充実を図るため、施設整備や教育・保育・子育て支援などの運営面に一定の関与を保てるよう、取り交わしたものです。

調印式では、町長から「町が認定こども園の全体構想に掲げる『心豊かにたくましく生きる子どもの育成』を念頭に、子どもに対する町の考え方を踏まえた、認定こども園の運営を行ってほしい」とあいさつし、琴田理事長からは「これまで町が担ってきた幼児教育の充実と、子育てしやすいまちづくりを基本として、地域に根ざした認定こども園の運営に努めたい」とあいさつがありました。また議会からは、田村議長と竹川副議長が出席し、田村議長から祝辞が述べられました。

町と啓誠福祉会は、令和4年4月の開園に向けた施設の建設、運営方法の検討など協議を進めていくこととなります。また今後は、保護者、啓誠福祉会、町の三者で組織する三者協議会を設置し、保護者の意見も参考にしながら、準備を進めていく予定です。

文化・体育振興基金にご寄付ありがとうございました



(左から)阿部副町長、町長、宗像啓吾副会長、吉田栄平副会長

このたび、小野町あすなろ会様(会長 太田正一様)から文化・体育振興基金にご寄付をいただきました。
小野町あすなろ会は、ゴルフ愛好家の皆さんでつくられている会で、町の子どもたちがコロナウイルス感染症の影響に負けないで文化・体育にいらしてほしいと寄せられたものです。
ご厚志をいただいた会員の皆さんに紙上より厚くお礼申し上げます。
小野町文化・体育振興基金は、町の文化と体育の振興・充実をはかるために個人や団体からの寄付を積み立てている基金です。
この基金は、小・中・高校生の全国大会出場時の激励金や表彰、町の社会体育団体や芸術文化団体、スポーツ少年団への補助や活動費など、有効に活用させていただきます。